

吉野川ラムネット通信

Vol. 3 2014.5.15 発行

吉野川河口の風景

昔、私の家のそばに小さな川が流れていて、メダカやフナが泳いでいた。ウナギのシーズンになるとおじさんたちが取りにきていた。私たち子どもは、川の中で犬と遊んだり、タニシをとったりして遊んでいたが、ある日この川の石垣がコンクリートになり、堰がコンクリートとなっていった。だんだんウナギは取れなくなり、魚の姿もあまり見なくなった。これが、私の川の原風景です。

では、徳島の人たちに原風景は何かと尋ねると、多くの人が眉山や吉野川と答えるでしょう。そこで今回の企画は、「眉(まよ)のごと 雲居に見ゆる 阿波の山 懸けて漕ぐ舟 泊り知らずも」の風景を吉野川河口から見ることにしました。



吉野川橋の北詰め橋下より眉山や遠く四国山地の山並みを望む。2011.9.11撮影(M)

「吉野川河口散歩」と題して、湿地のグリーンウェイブ 2014～自然と共に生きる～への参加イベントとして、4月19日、徳島マラソンの前日に開催しました。このイベントのねらいは、四国横断自動車道の橋梁建設のため、失われていく雄大な河口の風景を脳裡に留め、何か感じてもらうことと、かつてこの吉野川を「別宮川」と呼んでいた頃の人と川との関わりの歴史を知ることでした。

当日は、予想を超えて50名もの多くの参加者とともに、住吉干潟から川内の川湊までを往復して歩きました。参加された皆さんに開催趣旨を十分に伝えることができたかは、わかりませんが、今後もいろいろなイベントを通して、「自然と共に生きる」ことの意味を共有し、湿地を保全し賢明に利用するというラムサール条約の考えを広め、ぜひとも吉野川河口域をラムサール条約登録できるようにサポーターを増やしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

藤永知子



吉野川河口散歩

2014.4.19

「湿地のグリーンウェイブ2014～自然と共に生きる～」参加イベント

春のしらさぎ大橋を、
楽しく歩こう！

①

吉野川河口
散歩に、出発！



大橋から見た中州干潟の
北側は、木や草が茂って
いて、まさに島といった感じ♪



②

風が強くて、
帽子が飛びそう！



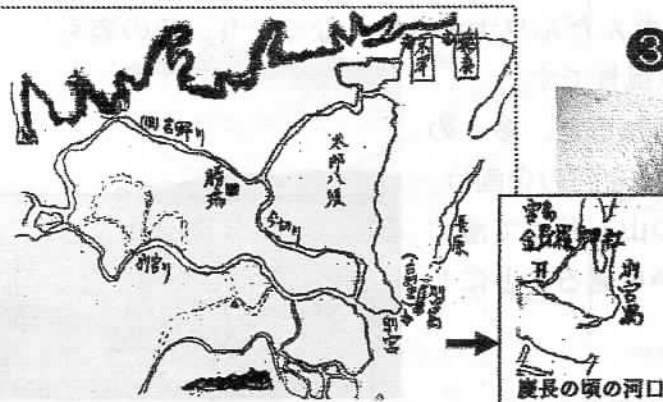
吉野川グラウンド
東詰め①

阿波しらさぎ大橋
②

宮島金刀比羅神社
③

阿波十郎兵衛屋敷
④

イタドリ
見つけた♪



中世末 戦国期の吉野川デルタ想定図

③ 金毘羅の大灯籠



宮島金刀比羅神社の
境内には石燈籠の常
夜燈があり、灯台の役
目を果たしていた。
石燈籠に刻まれた文
字から当時の監商人
の活躍ぶりが伺える。

④ 川湊



陸上交通の不便な時代、河
川は川船が行き交う重要な
交通路で、荷物を積み下ろ
しする川湊が点在してい
た。別宮川河口の川湊は、
鳴門の撫養港と並ぶ京阪神
との海運の大要港だった。

別宮川(現吉野川)・旧吉野川の河口デルター帯は、石清水八幡宮領の荘園『萱島荘』で、その末社の別宮(現在、応神町中原)が別宮川河口付近にあった。室町時代には、別宮に吉野川と周辺の海の水運を結ぶ重要な港があったことが文献に残されている。

「吉野川河口散歩」に参加して

戸田 初美

風が強くて少し肌寒い天候だったが、歩き出すと、子どもたちの明るい声、年配の方のかくしゃくとした歩きぶりに元気づけられた。

現吉野川は昔、別宮川と呼ばれていた。石清水八幡宮の荘園の別宮があった干拓の歴史や、宮島浦は江戸時代には藍や塩の積出港であった等、古地図による河野真理さんの歴史話も興味をそそられた。

橋の全長は約1300m。ゆっくり歩くと片道30分近くかかり、とにかく川幅が広い。満々と水をたたえている吉野川の姿に手を合わせたくなった。この水が毎日の飲み水、漁業、農業にも大切な水であると実感。その恵みで私たちは、しじみ、青のり、米、れんこん等安心して安全な川の幸、里の幸をいただくことができるのだ。

車でさっと通るだけでなく、歩くことで全てを肌で感じて、忘れがちな吉野川の自然からの恩恵を思い起こさせてくれた散歩だった。

～吉野川礼讃～

① 東流する大河

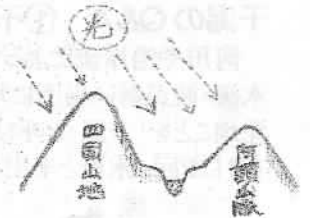
河野真理

日本列島の弓なりは、東北部には南北に、西南部は東西に細長い。日本の大河は、利根川、北上川、信濃川等ほぼ南北に流れる。それにひきかえ、西日本の大河、わが吉野川は、見事に東流する。朝は川口に朝陽が上り、(時にはだるま朝日)夕べには、上流に向かえば、穏やかな夕陽が周囲の山容を茜色に染めて沈む。

日本は、中国の文字「漢字」を併用する国である。中国の大河、黄河(河)・長江(江)は、吉野川と同様に東流する。そして、だからこそ、地形の有り様は、吉野川に馴染む。川は、峡谷から緩斜面に、海に向かって平野を形成する。その時、燦々と陽光を浴びるのは、山の南斜面と川の北部であり、山の北斜面と川の南部は、日照が短い。

東流する川の上流、三加茂の友人の言である。

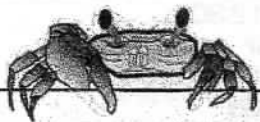
「午後になると、自分たちは、南にある四国山地の山陰になる。対岸の川の北は、阿讃山脈の南に沿って、川面がキラキラと日当たりがいいなあと、いつも羨ましかった。」



中国の「洛陽」とは、黄河の支流、洛水(川)の北にある都であった。紀元前の周代には、国の都となり、その後、後漢・三国の魏・西晋・北魏・隋と多少の移動はありながら、都であり続けたということが、この地が、どのような地であったかを物語るだろう。

近世城下町徳島は、とにかく そう言えば「阿波九城」、吉野川流域の城は、岡崎・西条・脇・白地(池田)と川の陽にある。川北には光があふれ、人の往来も多かったのだろう。

今後、随時吉野川を語っていくことにする。



おいしい吉野川

ひな祭りには、はまぐりのお吸い物。おいしいですね。
徳島の吉野川には、はまぐりがいるんです。

2012年には、環境省のレッドリストの絶滅危惧Ⅱ類に指定されたそうです。
近頃スーパーでよく見かけるのは中国産ばかり。

さあ、潮干狩りに行きましょか。

吉野川でカマや熊手を使って、一つつつ砂の中から探し出すのは、まさに「宝探し」です。
カチリと音がするとやった!と思いきや貝殻だった、なんてこともよくあること。

あまり捕れませんが、それぐらいがいいのかもしれないね。

宝物ですから。

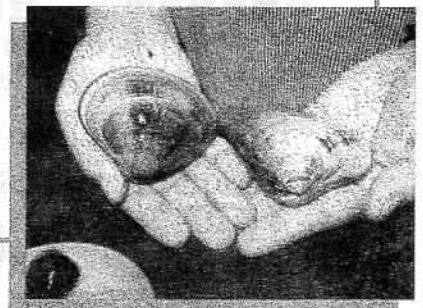
お吸い物や酒蒸し、ラップしてチンすると旨味が濃くてうまい。

調味料はなにもいりません。

おいしい吉野川。ご馳走さまでした。



西野 幸



湿地のグリーンウェイブ2014 イベント情報

in 吉野川河口干潟

●めざせ ラムサール！しおまねきラリー 2014

日時：5月18日(日) 13:30~15:30

集合：吉野川河口南堤グランド東詰

参加費：大人300円・高校生以下100円

問い合わせ ☎ 088-625-2293

《とくしま自然観察の会&徳島子ども劇場、吉野川ラムサールネットワーク》



●吉野川しおまねき探検隊～川と海をつなぐ干潟の自然観察会

日時：6月8日(日) 10:00~12:00

集合：吉野川河口南岸堤防の東詰

参加費：大人300円・高校生以下100円

問い合わせ ☎ 088-622-0619

《とくしま自然観察の会 協賛 パタゴニア神戸》

『国際生物多様性の日』(5/22)を中心に、世界各国で生物多様性向上キャンペーン「グリーンウェイブ」が開催され、日本でも環境省主催で毎年開催されています。ラムサール・ネットワーク日本(ラムネットJ)では、このキャンペーンを湿地にも広げることが目的に「湿地のグリーンウェイブ」として独自に参加団体を募り、環境省の「グリーンウェイブ」に参加しています。



in 徳島

●吉野川河口の四国横断自動車道渡河橋と生物多様性保全を考える講演会

日時：5月25日(日) 14:00~16:00

場所：ふれあい健康館・第4会議室

参加費：無料 問い合わせ ☎ 088-632-8727

《徳島県自然保護協会》

●田んぼ探検隊「ホタルの里は生きものがいっぱい！」

日時：6月7日(土) 9:00~12:00

場所：小松島市田浦町西原の田んぼ

集合地点は、申し込みの時に通知(申し込みが必要です)。

参加費：300円 問い合わせ ☎ 088-655-1632

《NPO法人 里山の風景をつくる》

●うみの生きもの観察会&クイズ合戦

日時：6月14日(土) 11:00~

場所：貝の資料館モラスコむぎの前浜・松ヶ磯

集合：松ヶ磯(海部郡牟岐町大字灘字下浜辺)

参加費：無料 問い合わせ ☎ 090-5499-8391(浅香)

《特定非営利活動法人 カイフネイチャーネットワーク》

●吉野川干潟マップをつくろう in 徳島子ども劇場まつり

日時：6月28日(土) 10:00~12:30

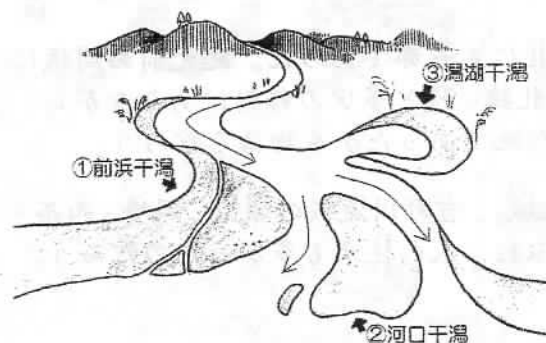
場所：シビックセンターホール4F

参加費：無料 問い合わせ ☎ 088-626-2257

《徳島子ども劇場、とくしま自然観察の会》

干潟のQ&A ①干潟って?

河川や沿岸流によって運ばれてきた土砂が、水流・波が弱い場所に堆積してできた平らな砂泥地ことを「干潟」と呼びます。潮の満ち引きで、1日に2回、水没と干出を繰り返します。



- ①前浜干潟 海岸線に沿ってできる干潟
- ②河口干潟 河川の河口部にできる干潟
- ③潟湖干潟 河口や海から湖のように入り込んだところにできる干潟

♪参考資料：HP「干潟って知っている？」
国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部

《編集後記》

中世末戦国期になると旧吉野川と今切川に囲まれたデルタの萱生地が開拓され、太郎八須(P2古地図参照)ができたそうです。今でもこの辺りにはハス田が多いことに納得です。今回の『吉野川河口散歩』に参加し、吉野川の歴史散策にも興味がそそられました。河野さんの吉野川のお話や西野さんの吉野川のおいしい食べ物の紹介を連載いただけることになっています♪ とても楽しみです♪ (M)

☆会員募集中☆ 会費：(一〇)1000円

吉野川河口域(第十堰から河口まで)を『ラムサール条約湿地』に登録して、吉野川の豊かな自然を子どもたちに残していきたい!!!

♪問い合わせ&お申し込みは、事務局まで

♪振り込み先：ゆうちょ銀行 吉野川ラムネット

口座番号 01640-6-52973

吉野川ラムサールネットワーク

事務局：藤永知子

TEL: 090-7268-9448

Email: taikazann@hotmail.com

HP: http://www.yrn.jp

